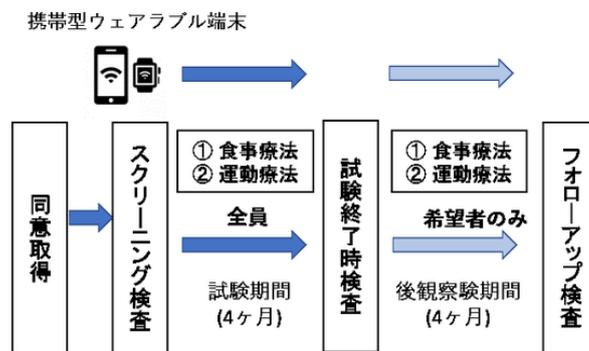


	シーズ名	携帯型ウェアラブル端末およびスマートフォンアプリによるモチベーション管理が Non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD)の病態に与える影響
	氏名・所属・役職	肝胆膵病態内科学・講師・藤井 英樹 (FUJII Hideki)

<概要>

肥満人口の増加と共に、肥満に伴う脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患、Non-alcoholic fatty liver disease; NAFLD)が増加している。NAFLDの一部は肝硬変に進行したり、肝癌を合併するために、より早期の治療介入が必要である。現在 NAFLD に対する有効な薬剤は存在せず、治療の基本は食事・運動療法による減量になるが、長期間にわたるモチベーションの維持は難しく、多くの方はリバウンドしてしまうのが現状である。一方近年、ヘルスケア分野において日常の活動量を測定できる携帯型ウェアラブル端末が数多く登場しており、健康管理に活用されている。本試験では、NAFLD 患者さんを対象に携帯型ウェアラブル端末やスマートフォンアプリが食事・運動療法を継続する際のモチベーション維持や NAFLD の病態改善に有効であるかどうかを明らかにすることを目標としている。試験の概念図を以下に示す。



<アピールポイント>

モチベーション維持における確立した方法は存在しない。NAFLD 患者に対して一方的に治療を提供するのではなく、消費カロリーや治療の達成度といったデータを“見える化”し、患者が自分でデータを入力してもらう、いわゆる “能動型” の臨床試験で、全国的にも類の無い珍しい取り組みといえる。

<利用・用途・応用分野>

新規脂肪肝治療法の開発、脂肪肝改善の新規バイオマーカーの探索

<関連する知的財産権>

特になし

<関連するURL>

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/news/2018/1902013-3>

https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000040363

<他分野に求めるニーズ>

IoT のスペシャリストとのコラボレーション

キーワード	NAFLD、携帯型ウェアラブル端末、スマートフォン
-------	---------------------------